

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671100115
法人名	社会福祉法人 野の花会
事業所名	もうひとつの私の家 なでしこ
所在地	鹿児島県南さつま市加世田村原一丁目9番地6号 (電話) 0993-53-8885
自己評価作成日	平成26年2月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、たとえ認知症になっても地域の中で安心して、一人ひとりのこれまでの暮らしや、生活の継続性を尊重するためにどのような支援が必要かを常に考えてきました。専門医による定期的相談会などのサポート体制も充実しています。できる限り自分のことは自分で、助け合って、地域とつながって生活されるよう工夫を行うように心がけています。外出などを楽しみ、隣接する「癒しの庭」での茶話会や、季節の行事、行事食の調理などを通じて、また、買い物や地域の行事への参加を通じて地域の方々につながって、日々の暮らしの中で力を発揮されています。そして、これらのことが、意欲の向上や楽しみにつながるよう支援しています。そのためにも、関わるスタッフは、資質の向上を目指し、お年寄りの力を引き出せるよう、心をこめ、尊厳をもって最期まで支えるために、日々研鑽を積もうと努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・法人全体の理念「福祉に文化を」を基本に、地域の中にあって家庭的な施設であり、建物の中には芸術性の高い作品が展示されている。
- ・地域の人達に開放されている「癒しの庭」で美しい花々に囲まれながら利用者が散歩をして地域の人々と交流が行われている。
- ・災害訓練時は地域の協力があり共に訓練に参加している。
- ・運営推進会議には、家族や行政・第三者委員・地域関係者が参加して、定期的に行なわれている。参加者から具体的な意見や提案が出され、運営に活かされている。
- ・利用者の特徴や思い・既往歴・緊急連絡先・手書きの人物像が書かれている支援パスシートがあり、緊急時などに活用している。
- ・本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。往診もあり主治医と連携が取りやすくなっている。
- ・重度化や終末期の対応は、看取りの事例もあり、指針に基づいて段階的に進めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人自体が開設当初より地域の中で創りあげてきた理念を持っており、事業所としても理念の共有化のために年度毎にグループワークで定例勉強会や定例スタッフ会議などで、学び話し合う環境で、日々のケアに取り組んでいる。またお年寄りの尊厳を支え、理念を実践につなげている。	法人全体の理念を基に、地域の中で家庭的な施設として取り組み、勉強会や会議などで地域密着型の事業所として、地域と共にケアの共有や意識を高めている。毎年職員全員で話し合い、具体的なケアにつながる事業所独自の重点目標を掲げて、月1回の会議で共有し合い実践につなげている。	
	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の暮らしの中の散歩・買い物・地域の行事への参加、「癒しの庭」での茶話会を行うことにより、地域の方々と挨拶や会話を交わしている。隣接している「癒しの庭」は、年中通して四季折々の花が咲き、地域に開放されている。これからも地域の方々も茶話会にお誘いしたいと考えている。	自治会に加入し、地域行事や道路清掃に参加している。敷地周辺の散歩や商店街への買い物、地域の人達との会話などの交流がある。利用者は近くの幼稚園児とさつま芋と一緒に収穫したり、職員は地域住民へ介護・転倒予防等の講演をして交流を深めている。	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>法人はこれまで、地域へ向けての講演会や介護予防教室・転倒予防教室・2級ヘルパー講習などを開催し、「日中オムツ0」を実践しており 24年度より「認知症になっても安心して住める街、加世田」を目指し「支援パス」の活用を行い、認知症の方とご家族、地域の方々への発信を続けている。</p>	/	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を行っており活用されている。行政の方・ご本人・家族・地域の方へ参加で報告を行なっている。また地域の自治会長の紹介で地域の行事への参加も行なっている。</p>	<p>会議は定期的開催され、事業所の活動報告や利用者の状況・地域での交流報告・外部評価結果報告などを行っている。参加者から意見や情報提供などが出され、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>推進会議にも毎回参加し、市町村担当者からの情報提供も細くなされている。グループホームの運営面についても日常的なやりとりができています。</p>	<p>市の担当者とは、更新の時に相談をしたり、日常的に情報提供を行い、行政との連携を深めている。運営推進会議に参加してもらい、利用者の生活状況を話したり、家族からの意見を聞く時間をもうけている。ミーティング等で話し合い、運営に反映している。</p>	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の理念に深く関わっており大切に取り組んできたことである。新人スタッフにもまず初めに理解を求める研修を行い、法人一丸で取り組んできたノウハウの継続に努め、ケアに取り組んでいる。また勉強会も行っており、スタッフも理解が出来ている。</p>	<p>事業所で身体拘束に関する勉強会を行っている。職員は玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアをしている。利用者が外出する様子を察知したら、さりげなく一緒について行く等、自由な生活を支えている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束をしないケアと同じく法人の基本理念であり、毎月の定例会にも常に運営者からの理念の浸透があり、日々のケアも敬意を持って話しかけたり尊厳をもって接するよう心がけている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>なでしこ入居の方で成年後見人を利用されている方があり、後見人の方とも連携しご本人を支えている。</p>	/	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は管理者とケアスタッフで読み合わせながら説明を行い実際の暮らしの内容を十分に理解・納得していただけるように対応を心がけている。</p> <p>また解約に関しては今後の不安のないように法人内のソーシャルワーカーや居宅のケアマネージャーと連携して対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居時に重要事項説明書により苦情・相談窓口の担当者がいることを書類・口頭で説明しており認知症状により理解が困難な方に関しても普段の会話の中からスタッフで汲み取る配慮をしている。また法人内に第三者委員も設置しており第三者も交えた家族会や運営推進会議も定期的に行っている。</p>	<p>利用者とは入浴や夜勤帯等の関わりの中で意見や不安など、何でも話せる雰囲気作りで思いを把握している。家族とは、面会の時、利用者の生活状況を話し、家族からの意見を聞く時間をもうけている。行事や家族会・運営推進会議の参加時に自由に話してもらい記録に残し、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月2回、運営者・管理者を含む全スタッフ出席の定例会を設けており、運営・サービス内容などをともに協議している。</p>	<p>会議や申し送りなどで運営に関する意見や提案を聞く機会を設けている。ケアの中で気づいたこと等を伝達事項ノートを活用したり、職員の気づきやアイディアを運営に活かしている。管理者に個人的にも相談している。勤務変更などお互いに協力している。</p>	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人において人事考課制度及びキャリアパス制度がすでに導入されており、職場環境の整備へ積極的に取り組みを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での研修にその時代にふさわしい講師を招いて全員で研修を受ける機会が多く設けられている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者が県の認知症の指導者でもあることから、県内の同業者の研修施設として多くの方が訪れており交流が行なえている。</p>		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談のあった時点で法人内共通の支援パスシートに本人の身体状況や生活暦・相談内容を記入し分析すると共に本人の思いを大切にしたい係わりで不安や寂しさを感じないよう職員との関わりを大事にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人同様に支援パスシートに家族の思いも記入し分析するとともに家族の不安の解消・望みの実現に努めている。特に入居時は不安も大きいので家族との連携も密に行なっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に関った居宅ケアマネジャー・ソーシャルワーカーとも協力し本人と家族に必要なサービスを見極めグループホーム入居までの支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の暮らしの中や、祭事等に関して行事の進め方、菜園作りなどお年寄りから教えられながら行なっており、実際植物の成長を楽しまれ育てた野菜を調理に取り入れている。		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしに関わっていたくことはもちろんであるが、家族と地域と楽しむ行事もともに計画を立てて実施している。家族状況に合わせて負担にならない配慮や介護に関する悩みの傾聴も行っている。また、お盆・正月は少しの時間でも良いので自宅への帰宅が出来るよう呼びかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの想いに添い実現できるように支援に努めている。暮らしの中に根ざした商店はもちろんのことであるが、親戚・家族の行事、地域行事やお墓参り・馴染みの美容室の利用なども家族の理解と協力で支援している。また、訪問客も来訪しやすいように周囲にも声掛けなど行っている。</p>	<p>近隣や地域の知人や友人など馴染みの関係を大切にして、逢いに出かけたり、面会などがある。家族の協力で地元の敬老会や運動会・墓参り・美容室などへ行ったり、家族が行けないときは事業所で支援している。ユニット間で知人とお茶を飲みながら会話を楽しむこともある。積極的に関係継続の交流を支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>地域の中で育まれた関係やホーム内で築かれた関係などに留意しその変化にも配慮して支援している。日々の暮らしが安定し お互いが支え合う環境になるように努めている。</p>		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>要介護度の変化や入院などで退去されても本人・家族がホームでの暮らしを希望されることが多く、法人内の他施設や居宅ケアマネージャーの協力も得ながら関わっている。またスタッフも施設・病院の訪問、電話などで近況の確認などを行い本人・家族が不安にならないように心がけている。</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いを大切にその方らしく暮らしていただく為に本人・家族からの話しの傾聴はもちろんであるが、本人に関わる各専門スタッフからの情報・法人内共通の支援パスシートや生活歴・ライフスタイルを中心としたアセスメントを活用し把握に努め本人本位に検討している。</p>	<p>「私の姿と気持ちシート」を使い職員が自由に記入し、利用者の思いや暮らし方を知り共有化している。困難な場合は家族や関係者から情報を得るようにして、本人中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの思いを大切にその方らしく暮らしていただく為に本人・家族からの話しの傾聴はもちろんであるが、本人に関わる各専門スタッフからの情報・法人内共通の支援パスシートや生活歴・ライフスタイルを中心としたアセスメントを行い、その方の人生を把握するように努めている。</p>		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の日常に関する把握は勿論であるがなでしこ入居後はモニタリングを行ないながら一日の過ごし方、心身状態、各専門スタッフからの情報取り入れ把握に努めている。日々の記録も行なっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフを交えた本人・家族との会話の内容を専門スタッフの意見等も反映しながら定期的なモニタリングとサービス担当者会議で検討して介護計画を作成している。	利用者の思いや希望・目標を大切にし、家族の同意のもと、その人らしいプランの介護計画を作成している。毎月、短期目標に対する検討評価を行っている。モニタリングは3ヶ月毎に実施している。状況変化があれば臨機応変に計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿った記録を行なっており、毎日のミニカンファレンスにて情報の共有を図っており、次の計画に活かしている		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>なでしこでは多機能性は持ち合わせていないが、できるだけ本人の意向に沿いなでしこでの生活を支えている。法人の母体である特別養護老人ホームでは生涯を支えるサービスを整え柔軟な支援ができています。法人の他事業、他サービスの提供と柔軟な支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人の意向や必要性に応じて支援されている。又ホーム全体でもいろいろな地域資源と協働できるように働きかけを行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人・家族の希望を大切に、今までのかかりつけ医との関係を継続出来るよう支援している。また緊急時には協力医療機関の受診がえられ不安のないよう支援している。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は基本的には家族同行になっているが、日常の生活状態など医師に報告する場合は職員も同行している。毎週、協力医療機関の看護師が訪問して状況把握をして繋がりを持ち、緊急時の対応がスムーズにできるようにしている。かかりつけ医や協力医の往診もある。</p>	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同法人内の訪問看護ステーションと医療連携を契約したことで日常的に同センターの看護師に相談できる環境にある。また、かかりつけ医療機関の看護職の方にも日常の健康管理や医療について相談し支援をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院後はできる限り早期に退院できるよう支援している。家族とは定期的に連絡を取りご本人、ご家族の退院後の不安がないよう支援している。同法人内のソーシャルワーカー・居宅ケアマネージャーとも連携し退院後のサービス利用について早期に相談援助をすすめている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>緊急時への対応も含めて話し合いを行っている。必要な方には不安にならないよう運営者自ら話し合いに加わり、方針を共有している。同法人内のチームで行う定期的な会議にて情報を共有しながら今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>重度化や終末期の指針を説明し同意を得ている。利用者の状態に合わせ段階的に家族を交えた話し合いで共有化している。医師や看護師と医療連携をしている。家族の協力を得ながら終末期を迎える方針の共有を図っている。今までに看取りの事例がある。</p>	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルもできており緊急対応されている。またケアワーカーも必要最低限の対応ができるよう、定期的に法人内で行われる応急手当の講義・実技に参加しており、運営者の指示も即適切に、受けられる体制にある。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>いろいろな場面を想定し定期的な防災訓練を行っている。運営推進会議に、消防署の職員にも参加してもらい、協議を行ったり、地域の人々の協力を得られるように働きかけに努めている。</p>	<p>消防署の協力を得ながら火災の避難訓練を年2回実施している。昼夜間を想定して災害対策を地域の人も交えて、実践的な訓練をしている。非常用の食料や備品を準備している。災害の協定を結び地域全体での災害対策を行なっている。</p>	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ホームの理念に深く関わっており、もっとも大切にしている部分である。新人スタッフにもまず初めに理解を求める研修を行い、慎重に取り組んでいる。またマニュアル、基準書で随時確認出来るようになっており、勉強会も行っている。</p>	<p>マニュアルや基準書があり、新人研修や勉強会を通じ、その人らしい尊厳と権利を大切にしている。日常、馴れ合いにならないように、本人を傷つけないように言葉かけに注意し、言葉使いやさりげないケアを行い、プライバシーの確保に努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>暮らしの中で同じ目線で話の傾聴を行い理解していただけるように対話している。又自己表示の困難な方にも表情や仕草から受け止め寄り添いながら自己決定を大切に、そして継続できるよう支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々人のペースにあわせてゆっくり待つことを基本にその人らしく暮らせるように支援している。また、本人の希望を遠慮なく言える環境を整え、家族の協力を得ながら本人の思いに添えるよう努めている。</p>		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節にあった日々の身だしなみはもちろんであるが、家族行事や外出時にふさわしいおしゃれも支援している。ホーム内での美容師の利用も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材選びの買い物から後片付けまでおひとりお一人の力を活かして一緒に楽しみながら行っている。又嗜好・栄養や郷土料理・季節感を大切に献立し配慮している。	毎日のメニューは利用者に相談しながら決めている。職員と一緒に食材を購入に行ったり、後片付け等、個々の力量に応じて行っている。行事食や郷土料理、季節感のある調理の工夫がされている。家族から食材の差し入れもある。手作り弁当を持って公園に出かけることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量も記録し把握している。栄養バランスについてもスタッフ勉強会での知識の共有を図り同法人の管理栄養士からの助言などで適切に確保できている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	同法人内の専門の歯科衛生士に個々の状態をみて頂き、おひとりお一人の口腔の状態・本人の力に合わせた支援を毎食後行っている。		

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努めプライバシーに配慮を行い誘導している。夜間も失禁の不快感がないように各人に合わせて適時誘導を行っており昼夜を問わずオムツ・リハビリパンツの使用は行わない事で排泄に取り組んでいる。また、各居室にトイレがありで安心して排泄できる環境になっている。	排泄記録表で把握して、習慣やリズムをとらえたり生命維持活動の大切な排泄について、積極的に自立支援に取り組み、適切な声かけをしてトイレ誘導を支援している。一人ひとりのサインを把握しながら居室トイレで排泄ケアを行っている。昼夜を問わずリハビリパンツやおむつを使用しない方針で排泄に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適切な食事・運動・水分補給で出来るだけ下剤を使わない便秘予防に取り組んでいる。水分は体重にもよるが、1日に1300ccから1500cc以上を目標にその方に応じて朝の冷たい牛乳・好きな飲み物も取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日、年中いつでも入浴できる体制となっており、時間帯に関しても現在は主に午後からの入浴が多いが24時間、希望があれば入浴できる。体調不良でなければ個浴でゆっくり楽しんでいただき見守り、くつろげる雰囲気大切にしている。	一人ひとりの生活習慣やその時々希望を大切にされた入浴支援をしている。生活習慣や希望に応じた入浴ができるような自由な入浴の体制をしている。個浴でゆっくりくつろげる配慮もある。入浴をいやがる利用者には時間をずらしたりスタッフを変えたり、言葉かけを工夫している。足浴で睡眠への支援もしている。	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	おひとりお一人に合わせて対応されている。休息に関しても閉じこもり・孤独感に配慮し、見守りを行い昼夜逆転につながらないように気持ちの良い睡眠につなげる努力をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示により正確に服用されるように、おひとりお一人の服薬関連のファイルを作成、毎日の服薬状況を記入することでスタッフが理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の趣味や生活歴から役割・楽しみを共に模索し支援し常に自信を高めるような言葉かけや働きかけを行い喜びにつなげている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の買い物・散歩やドライブ・地域行事への参加・家族との外出など選択肢を広くし本人の希望に添い支援している。	日常的には庭園や近くの公園へ散歩をしたり、商店へ買い物に出かけたり地域行事に参加している。自宅付近や日頃行けない場所へのドライブもしている。家族の協力を得て墓参りなどを行っている。重度の利用者も特殊車両を使い外出支援をしている。	

もうひとつの私の家なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており金銭の管理が出来ない方も家族の理解を得て、小額のお小遣いを持っていただき買い物時に、ご本人がお財布からお金を出し、好みのものが購入できるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の取次ぎや手紙・ファックスの受け取りはもちろんであるが個人で電話が自由にできるように3階に馴染みのピンク電話を設置している。家族会では可能な方には携帯電話の使用も勧めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節・天候や時間に合わせて配慮している。調度や備品は入居者にふさわしい品を配慮し調べ物品も入居者の意見を取り入れた電化製品などを準備しており、フロアの装飾も入居者の手作り作品など配置したりと家庭的な雰囲気になっている。又、季節行事の馴染みの装飾・楽しい装飾など入居の方とともに楽しんでいる</p>	<p>共用の空間は、キッチンや食堂・リビングが一体化し利用者と職員は常に身近に感じられ、安心した生活ができている。玄関や廊下など利用者の作品、季節に応じた装飾、花などが活けてあり、文化を感じられる書や着物の帯が飾られている。椅子やソファが置いてあり、浴室やトイレなどプライバシーが守られ安心できる構造になっている。</p>	

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない